

# 業況レポート

## 製造業

- ◇パン…学校給食専門の工場は、経営が悪化している。市販商品を併せて製造している工場は、副資材の値上げで苦勞している（特に油脂類の値上げ）。また、衛生管理の徹底やクレームが出ないよう、常に組合員一同心がけている。
- ◇味噌…円安の影響で、「原料高の製品安」の状態が継続している。相変わらず収益面で厳しい状況が続いている。
- ◇酒…4月の課税移出数量は、前年同月比118.6%。しかし、消費税増税による反動減の時期との比較であり、平成25年4月と比較すると95%である。特定名称酒（吟醸・純米）については、年間比105%台の堅調な伸びを示している。焼酎についても、前年同月比106.4%だが、平成25年4月と比較すると70%である。清酒輸出に関しては、数量の伸びは順調であるが、金額ベースでは微増。輸出先の見直しを検討している。このため、ジェット口等との連携による商談会に注力している。国際空港免税店エリアでの試飲販売は4月以降も継続実施。

平成27年3月に発行した蔵元情報誌「茨城の地酒と蔵元」を、県内の公共施設・イベント会場等で、広報活動のツールとして活用している。4月に開催された全国新酒鑑評会では、14社が入賞（その内金賞が10社）と好成績をあげた。
- ◇納豆…天候に恵まれ、販売は好調。雨不足による野菜価格高が少なからず影響していると思われる。

業界全般としては、販売は好調でも、中小・零細企業にはコストダウンの余地がなく販路確保が厳しくなっており、大手との格差が拡大する一方。
- ◇菓子…連休中は天候に恵まれ、売上が若干増加したが、中旬以降は伸び悩んだ。5月全体では、前年同月比で若干のマイナス。原材料が値上がりし、収益を圧迫している。
- ◇繊維製品（袋物）…連休明けは例年通り仕事量が減少した。雇用人員についても入れ替えが多い様子。
- ◇木材…住宅資材関連の荷動きは低迷している。新設住宅着工数の縮小が影響し、プレカット工場も稼働率低下が目立っている。需要全体が広がらず、先行きの実需動向が見極めにくいことが要因。原木価格の値下がりが見られ、先行きは不透明。
- ◇プレカット…不振続きの5月だった。製品価格がジリ安で、加工件数も30%減。ただし、20日以降は仕事が決まりだした。6月は先行き不透明。
- ◇総合印刷…業況は相変わらず厳しい。水戸市にハ

ザードマップ11,890部を寄贈した。

- ◇焼物…春の行楽シーズンが終了し、落ち着きを取り戻したが、同時に人の流れまで止まってしまったように感じる。これから梅雨の時期を迎える中で、少しでも人の流れを取り戻せるよう努力していきたい。
- ◇鍍金…受注量、収益状況とも前年並。石油製品が値上がり傾向で、電気料金の上昇も収益性に悪影響を及ぼしている。鍍金加工単価、原材料価格は前年と同程度で大きな変化はない。
- ◇電化機器…当月生産高は、対前年同月比△96百万円（△14.3%）となる574百万円。その要因は、受注先親工場における海外生産や自社の内作へ切り替えによるもの。これからの親工場の動向に注目している。
- ◇自動車部品…売上高の減少傾向にはやや歯止めがかかったように思えるが、従前の水準には達していない。
- ◇工業団地（農機部品）…対象7組合員の売上状況は、増加が6社、減少が1社。主得意先の上期増産計画に対応し生産が増加。対前年同月比売上高は36%増。従業員数は、臨時社員の増加により、約3%増加したが、十分に確保できず、時間外勤務の増加により対応している。

## 非製造業

- ◇水産卸…精算所取扱高は、前年同月比2.53%増。水産卸では、売場の低温化施設の導入が進められている。温度管理による鮮度保持につとめ、買受人へアピールしている。
- ◇県南地区卸売…売上高増加により、収益状況が好転しつつある。
- ◇食品卸売…5月は、野菜果実ともに、前月に引き続き単価高となった。4月までの気温低下、曇雨天、日照不足から一転して高温少雨が続いたため、生産が難しく、出荷量が減少した。単価高の影響で、販売に苦慮し利益を上げるのが難しい状況だった。
- ◇セメント卸…袋セメントの出荷数量は対前年比98.6%と横ばい。建設業界での受注低迷から、工事が少なく、袋の出荷も低調に推移している。
- ◇家電…厳しい状況が続いているが、仕事を通じて地域社会に貢献していかなければならない。新年度に入り、創エネ・蓄エネ・省エネをメインとする「家まるごと」に対応した機器・商品への取り組みを積極的に推進し、成果に結び付けていきたい。
- ◇県北地区共同店舗…5月は気温が高く、一部の夏物商品は好調だったが、全体で見ると消費税増税

の影響で売上を大きく落とした。

- ◇**県央地区共同店舗**…食料品は好調だったが、それ以外は厳しい状況だった。周辺でプレミアム商品券の販売が始まり、買い控え感が出てきた。
- ◇**県南地区共同店舗**…全体的に客数減。特に、連休終了後は売上及び客数の減少に歯止めがかからず、回復の兆しが見られない。飲食部門も対前年同月比85%と苦戦している。
- ◇**中古自動車**…新車販売台数の減少に伴い、オークションでも出品台数が減少したが、成約率は上がった。会員全体でみると、依然として厳しい状況にある。
- ◇**石油**…原油価格が安値で推移しているため、ガソリンの販売価格は前年同月比で24円値下がりしている。ハイブリッド車などの低燃費車の普及により、需要は減少しているにもかかわらず、元売販売子会社などの大手業者が、前年並の販売数量を確保しようとして、一般組合員の仕入れ価格を下回るような安値販売競争が続いている。この影響で、廃止・休業に追い込まれる組合員が増えている。
- ◇**商店街（下妻）**…昨年度の消費税増税の時期よりはやや好転した。相変わらず、高額品や買回り品等は低迷している。
- ◇**ホテル旅館**…ひたち海浜公園のメディアへの露出の影響か、臨海部における宿泊率は100%に近い数値になっている。一方で、県中央部では3月から売上が減少している。そのため、販売価格を調整してもあまり変化がない様子。レストランを併設する施設では、バイクと抱き合わせの商品が好評で、連休を過ぎても稼働率は上昇している。山間部では、梅雨入り前の好天の影響で、宿泊・日帰りとも客足が増加している。
- ◇**自動車整備**…組合員事業場の車輛入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は、普通車98.4%と減少、軽自動車104.2%と増加した。

- ◇**総合建設**…新年度になり2ヶ月が経過した。昨年より公共工事の繰越が少なかったためか、各社受注量不足である。そのために民間工事を確保しておくことが多いが、その民間工事も完了してしまう。現在は技術者及び職人も十分に確保でき、下請け業者は仕事不足のため、低価格での受注競争をしている。昨年と同じ時期に大量発注があると、また技術者不足、職人不足がおきると考えられる。
- ◇**管工事**…昨年の5月は消費税増税の影響で売上が減少した。それと比較すると増加になったが、例年通りに戻っただけ。
- ◇**県北地区運輸**…顧客動向は低調。輸送作業についても減少している。燃料費は、前年度よりは下がっているものの高止まりしている。
- ◇**県央地区運輸**…気温が高い日が続き、家電や飲料関係の輸送が好調だったが、一般物は稼働日数が少なく、荷動きも悪かったためよくなかった。

H27.5月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		☁	0.0	☂	▲ 33.3
その他業		☂	▲ 40.0	☂	▲ 45.0
卸売業		☀	50.0	☁	0.0
小売業 (商店街を含む)		☂	▲ 27.3	☂	▲ 27.3
サービス業		☀	50.0	☀	50.0
建設業		☂	▲ 20.0	☂	▲ 40.0
運輸業		☂	▲ 100.0	☂	▲ 100.0
全体			▲ 22.0		▲ 34.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」（又は「好転」）業種割合から「減少」（又は「悪化」）業種割合を差し引いた値（D.I値）をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

☀	☂	☁	☂	☂
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21

エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取組み易い環境経営システムです。

特定非営利活動法人『**環境NPOいばらき**』とは、  
「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
  2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
  3. エコアクション21審査人の育成教育
- ※「エコアクション21地域事務局いばらき（茨城県中小企業団体中央会）」の運営委員の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

\*連絡先：所在地：〒302-0102 守谷市松前1-8-8 代表者：飛田 秀幸  
TEL：0297-48-1290 FAX：0297-48-1290 Email：hishii@plum.plala.or.jp  
HP：http://www.kankyounpo-ibaraki.com 何なりとお気軽にご一報ください。お待ちしております。